シカジーニアス® 核酸抽出試薬シリーズ
Cica Geneus® Extraction Reagent Series

シカジーニアス® DNA抽出試薬
スタンダードなDNA抽出試薬です。

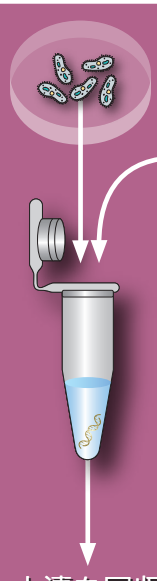
シカジーニアス® DNA抽出試薬 ST
酵母など比較的抽出が難しい試料に適しています。

シカジーニアス® DNA抽出試薬 AN
動物試料からPCR用のゲノムDNAを調整できます。

シカジーニアス® RNA抽出試薬
カラムを使わず、かんたんにRT-PCR用のトータルRNAを調整できます。

シカジーニアス® 核酸抽出試薬は、細胞からゲノムDNA、トータルRNAを効率よく抽出するための試薬です。
本試薬と目的試料を混合し、インキュベートするだけの簡単な操作で、PCRテンプレートが調製できます。

特　長



試料 10 µL

試薬 100 µL ［a液 10 µL / b液 100 µL］

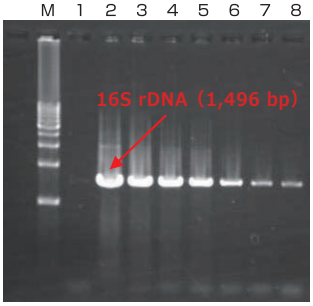
使用直前に2液を混合してお使いください

インキュベート
［72℃－6分 / 94℃－3分］

上清を回収

1) 試薬a、試薬bを1:10の比率で混合し、DNA抽出試薬混合液を調製します。
2) 調製したDNA抽出試薬混合液を100 µLマイクロチューブに入れます。
3) コロニーもしくは培養液を上記マイクロチューブに入れ、軽く混合します。
4) 72℃で6分間、94℃で3分間インキュベートします。
5) この反応液の上清をテンプレートDNAとします。

＼わずか**10**分で／
PCRテンプレートの調製ができます



■サンプル
Staphylococcus aureus ATCC® 6538
（2.8×10⁸ cfu/mL相当）
■検出遺伝子
16S rDNA（リボソームDNA）
■培養条件
LB液体培地（30℃で18時間培養）

M　1 kbラダーマーカー
1　ネガティブコントロール
2　ポジティブコントロー
（5 ng/µLの精製DNA）
3～8　DNA抽出液の
10倍段階希釈液

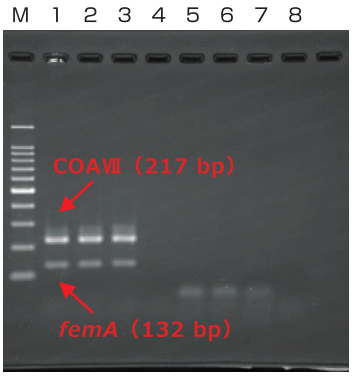
製品情報

製品番号	製品名	保存	包装
08178-96	シカジーニアス®　DNA抽出試薬	冷蔵(2℃~8℃)	120 回分
08210-96	シカジーニアス®　DNA抽出試薬ST	冷蔵(2℃~8℃)	120 回分
08199-96	シカジーニアス®　DNA抽出試薬AN	冷蔵(2℃~8℃)	120 回分
08211-96	シカジーニアス®　RNA抽出試薬	冷蔵(2℃~8℃)	120 回分

関東化学株式会社

シカジーニアス® DNA抽出試薬　● DNA抽出例 ●

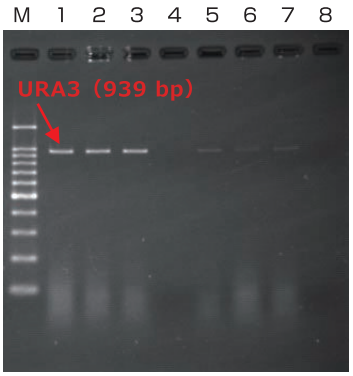
細菌（平板培地のコロニー）



M　100 bpラダーマーカー
1〜3　本試薬によるDNA抽出（n=3）
4と8　ネガティブコントロール
5〜7　熱水によるDNA抽出（n=3）

■サンプル
Staphylococcus aureus NBRC 102141
（コロニーを1〜2 μL使用）
■検出遺伝子
COA（コアグラーゼⅦ型）
femA（メチシリン耐性関連因子）
■培養条件
SCD寒天培地（37℃で一晩、好気培養）

出芽酵母（平板培地のコロニー）



M　100 bpラダーマーカー
1〜3　本試薬によるDNA抽出（n=3）
4と8　ネガティブコントロール
5〜7　熱水によるDNA抽出（n=3）

■サンプル
Saccharomyces cerevisiae ATCC® 9763
（コロニーを5〜10 μL使用）
■検出遺伝子
URA3（脱炭酸酵素）
■培養条件
サブローブドウ糖寒天培地（37℃で一晩、好気培養）

本試薬の適合例

●グラム陽性菌
Staphylococcus aureus
Clostridium difficile
Bacillus cereus
Enterococcus faecalis

●グラム陰性菌
Campylobacter jejuni
Salmonella enterica
Vibrio parahaemolyticus
Escherichia coli

●真菌
Candida albicans
Saccharomyces cerevisiae

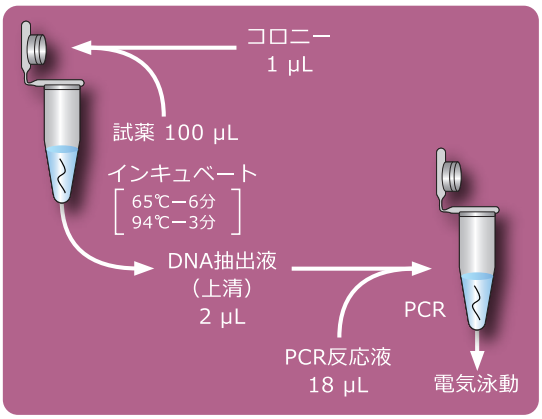
●その他
Mycoplasma pneumoniae
Chinese hamster ovary cell

※酵素やプライマーなどのPCR条件により、DNA増幅効率は異なりますのでご注意ください。

シカジーニアス® DNA抽出試薬 ST　● DNA抽出例 2 ●

従来品より細胞抽出効率を上げたストロングバージョン

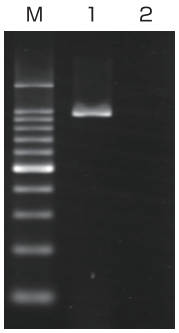
出芽酵母（平板培地のコロニー）



テンプレートDNA	2.0 μL
AptaTaq DNA Master（5xconc.）	4.0 μL
Primer-Forward（10 pmol/μL）	1.0 μL
Primer-Reverse（10 pmol/μL）	1.0 μL
滅菌水	12.0 μL
合計	20.0 μL

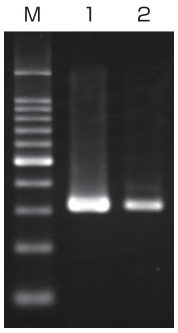
PCR反応条件：

94℃	30秒間	30 Cycles
48℃	90秒間	
72℃	60秒間	
72℃	7分間	



M　100 bp DNA Ladder
1　本試薬を用いて調製したDNA
2　熱水を用いて調製したDNA

■サンプル
Saccharomyces cerevisiae
ATCC® 9763
（コロニーを1 μL使用）
■検出遺伝子
URA3（939 bp）
■培養条件
サブローブドウ糖寒天培地
（37℃で一晩、好気培養）



M　100 bp DNA Ladder
1　本試薬を用いて調製したDNA
2　シカジーニアス® DNA抽出試薬を用いて調製したDNA

■サンプル
Staphylococcus aureus
NBRC 102141
（コロニーを1〜2 μL使用）
■検出遺伝子
16S rRNA（324 bp）
■培養条件
SCD寒天培養
（37℃で一晩、好気培養）

シカジーニアス® DNA抽出試薬 AN　● DNA抽出例 3 ●

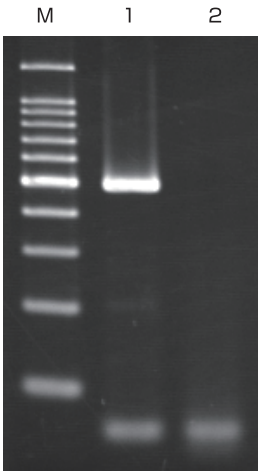
動物組織サンプルなどからDNAを抽出するのに最適化されたアニマルバージョン

マウス尻尾

テンプレートDNA	2.0 µL
AptaTaq DNA Master（5xconc.）	4.0 µL
Primer-Forward（10 pmol/µL）	1.0 µL
Primer-Reverse（10 pmol/µL）	1.0 µL
滅菌水	12.0 µL
合計	20.0 µL

PCR反応条件：

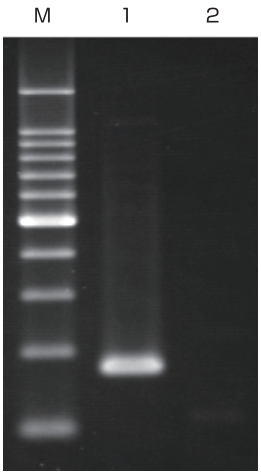
94℃	30秒間	30 Cycles
60℃	90秒間	
72℃	60秒間	
72℃	7分間	



M　100 bp DNA Ladder
1　本試薬を用いて調製したDNA
2　熱水を用いて調製したDNA

■サンプル
マウス尻尾　3 mm

■検出遺伝子
β-globin（494 bp）



M　100 bp DNA Ladder
1　本試薬を用いて調製したDNA
2　熱水を用いて調製したDNA

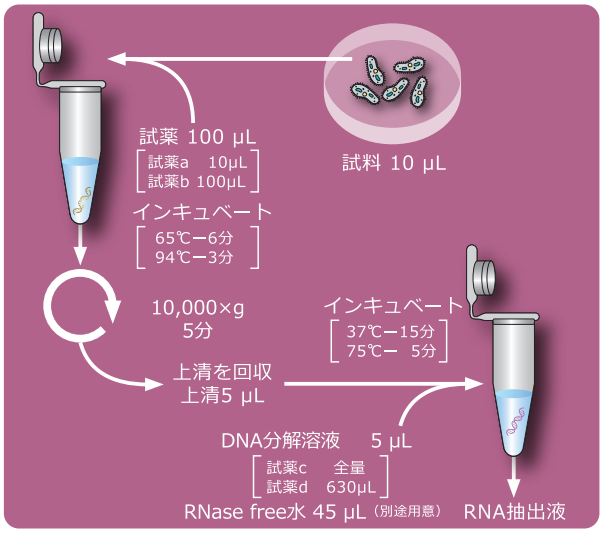
■サンプル
ヒト EDTA加全血（1 µL使用）

■検出遺伝子
ALDH2（176 bp）

シカジーニアス® RNA抽出試薬　● RNA抽出例 ●

有機溶媒を使わず、試薬を混ぜるだけでRT-PCR用のトータルRNAが抽出可能

黄色ブドウ球菌（平板培地のコロニー）

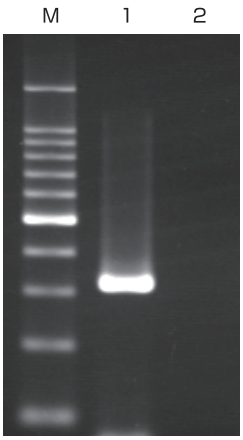


逆転写反応液組成

テンプレートRNA	5.0 µL
5x PrimeScript Buffer	2.0 µL
PrimeScript RT Enzyme Mix	0.5 µL
Primer-Reverse（2 pmol/µL）	0.5 µL
滅菌水	2.0 µL
合計	10.0 µL

逆転写反応条件：

42℃	15分
▼	
85℃	5秒



M　100 bp ラダーマーカー
1　本試薬によるRNA抽出
2　ネガティブコントロール

■サンプル
Staphylococcus aureus

■検出遺伝子
16S rRNA（324 bp）

■培養条件
SCD寒天培地
（37℃で一晩、好気培養）

本試薬の適合例

- グラム陽性菌
  Staphylococcus aureus
- グラム陰性菌
  Escherichia coli
- 真菌
  Saccharomyces cerevisiae
- 動物細胞
  HeLa cells

逆転写反応液	2.0 µL
AptaTaq DNA Master (5xconc.)	4.0 µL
Primer-Forward（10 pmol/µL）	1.0 µL
Primer-Reverse（10 pmol/µL）	1.0 µL
滅菌水	12.0 µL
合計	20.0 µL

PCR反応条件：

94℃	30秒間	30 Cycles
54℃	90秒間	
72℃	60秒間	
72℃	7分間	

適合一覧

検　体		適合性			
		DNA抽出試薬			RNA抽出試薬
		オリジナル	ST	AN	
大腸菌（コロニー）		◎	△※1	△※1	△※2
エルシニア（コロニー）		◎	△※1	△※1	ー
百日咳菌（コロニー）		◎	△※1	△※1	ー
カンピロバクター（コロニー）		○	ー	ー	ー
サルモネラ（コロニー）		○	ー	ー	ー
腸炎ビブリオ（コロニー）		○	ー	ー	ー
黄色ブドウ球菌（コロニー）		○	○⁺	○	○
C. ディフィシル（コロニー）		○	○⁺	○	ー
ウェルシュ菌（コロニー）		○	○⁺	○	ー
ジフテリア（コロニー）		○	○⁺	○	ー
腸球菌（コロニー）		○	○⁺	○	ー
枯草菌（培養液）		ー	○⁺	○	○
枯草菌（芽胞）		ー	△※3	△※3	△※4
セレウス菌（コロニー）		○	ー	ー	ー
ヒトマイコプラズマ（コロニー）		○	○⁺	○	ー
ウシマイコプラズマ（コロニー）		○	○⁺	○	ー
出芽酵母（コロニー）		△※6	○	○	○
カンジダ（コロニー）		△※6	ー	ー	ー
添加回収試験 （検体に外来遺伝子を添加しPCRで検出）	ヒト血清	×	○	○⁺	○
	ヒトEDTA全血	×	○	ー	○
	ヒトEDTA血漿	×	○	ー	○
	ヒト尿	ー	○	○	○
	ヒト糞便	ー	○	○	○
	ヒト唾液	ー	○	○	○
	ヒト涙液	ー	○	○	○
マウステール		ー	○	◎	ー
動物培養細胞（NIH3T3）		ー	○	◎	○
ヒトEDTA全血		×	○	◎	×※5

◎　：適合（有意に優れている）
○⁺：適合（有意差はほとんどないが、サンプル濃度等の条件次第で優位に優れる場合がある）
○　：適合
△　：適用可能であるが注意を要する
×　：不適合
-　：未実施

※1 遺伝子抽出後に溶液が高粘性になる
※2 遺伝子抽出後に溶液が高粘性になる、DNA分解が不十分
※3 検体が完全には死滅しない
※4 検体が完全には死滅しない、DNA分解が不十分
※5 検出感度不足である可能性がある
※6 抽出効率が低い

※適合性に関する表記は、自社検討結果の基づいて記載を行っております

製品の価格につきましては、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。
右記の二次元バーコードからもご覧いただけます。→

● 本記載の製品は、試薬（試験、研究用として用いる化学薬品）としての用途にご利用ください。
● 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。 最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。

関東化学株式会社
試薬事業本部

〒103-0022　東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL：03-6214-1090
HP：https://www.kanto.co.jp

BGb-01(202601)